

『企業向けエンジニアリングDXに関する調査研究』

調査研究の目的

ものづくり企業の生産現場におけるDX（エンジニアリングDX）の構築に向けて、AIやIoT等、DXを支える各種基盤技術や開発ツールの最新動向の調査を行い、ものづくり企業への展開可能性を検討します。

調査研究の内容

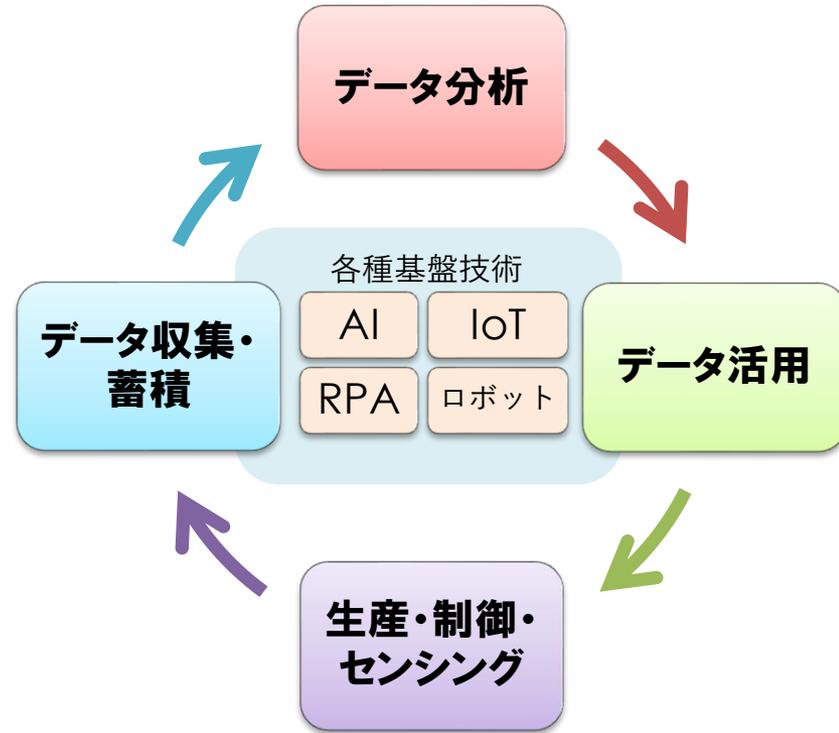
- ・エンジニアリング分野におけるDXを支える要素技術や各種ITサービスの調査
- ・開発ツール（ローコード／ノーコード系ツール）の調査
- ・県内企業（製造業・県内IT企業）、先行企業調査
- ・総研を実証フィールドとし、所内で取得できるデータを取得し、データの見える化や、ディープラーニング等による評価

関連する企業(業種)、大学(研究分野)

- ・企業（製造業全般、ソフトウェアベンダー）
- ・大学（AI、画像処理、情報通信、ロボットなど）

調査研究の結果、提案したい研究テーマ

- ・生産現場における「見える化」システムの導入実証
- ・製造業におけるIoT、ロボットの導入・活用に関する研究



実用化が見込まれる製品や産業分野

- ・生産設備（工作機械等）の最適保守、故障予測
- ・製造ラインの遠隔監視システム、最適化ラインの構築

研究会名：《エンジニアリングDX研究会》

【お問合せ】 新潟県工業技術総合研究所 中越技術支援センター 石井(電話:0258-46-3700)